

平成30年度 第6回精華町立体育館・コミュニティーセンター及び 町内体育施設指定管理者連絡調整会議 議事摘録

■日時

平成30年9月25日（火）午前10時30分～11時50分

■場所

むくのきセンター 第1会議室

■出席者

体育協会 谷専務理事、山下事務局長、西田事務局次長
精華町教育委員会教育部 岩崎教育部長、石崎生涯学習課長、
土井社会体育係長、河西社会教育係長

■内容 進行：石崎生涯学習課長

1 開会

【岩崎教育部長】

- ・9月12日の総務教育常任委員会で配布した資料の中で、体育協会から提出された事業報告書に一部記載誤りがあった。事業報告書提出時に、本町職員の確認ミスもあったため、生涯学習課においては公文書の作成について改めて複数人で確認するなど事務作業を進める際は記載誤りの未然防止などそのやり方の見直しをするよう周知徹底をしている。体育協会においてもこういったことがないように、提出書類については複数人による確認の上、記載誤りや不備等がないよう改めて未然防止に向けて職員の周知徹底をお願いしたい。

【山下事務局長】

- ・今回の件について、深く反省している。提出書類、しかも事業報告書に記載誤りがあったということは決してあってはならないことである。事務を進めるにあたって事務処理方法の見直しをしていかなければいけないと考えている。事務局の責任者として今後このようなことのないように、細心の注意を払うとともに提出書類作成時には、複数人による確認をするなど職員に見直しをするよう周知徹底を図っていきたい。改めて今回のことを真摯に受けとめ、深くお詫び申し上げる。

2 議題

(1) 精華町教育委員会より

【河西社会教育係長】

① 文化講演会について

- ・目的、日時、場所等の内容を提示した。
- ・第1回は11月下旬から12月初旬に府立大学文学部の上杉准教授に依頼し、第2回は12月中旬にせいかグローバルネットの協力で多文化共生の内容で行い、第3回は平成31年1月下旬に府立大学の地域文化セミナーの制度を利用して依頼し、第4回は2月に町の文化財担当職員が講師として、それぞれ実施予定で

ある。

- ・役割分担として、教育委員会は講師の選定や事務手続きを行い、体育協会は広報をと考えている。その他、詳細については相談しながら進めていきたい。

【岩崎教育部長】

- ・新規事業を行う際、周知方法や受講者集めはどうされているか。

【西田事務局次長】

- ・基本的に町広報誌「華創」を中心に、町ホームページが広報手段である。近々体育協会のホームページを立ち上げる予定であるので、そこでも考えられる。中身によっては加盟団体に文書等で周知することも考えられる。館内にポスターを貼ることも可能である。

【岩崎教育部長】

- ・体育協会のホームページの開設時期は？

【西田事務局次長】

- ・順調にいけば、11月のせいこマラソン前を予定している。
- ・個々に受付、広報を考えているか？

【河西社会教育係長】

- ・受付は個々と考えている。広報は日程が決まっていれば早くお知らせしたい。
- ・先生の予定により各回の順番は変更する可能性がある。

【岩崎教育部長】

- ・特に第1回については、生涯学習課管轄の文化財愛護会などに声をかけてたくさん参加いただきたい。初めての取り組みであり、できるだけ多くの方にきていただくため、ご協力をお願いしたい。
- ・また第三者評価委員会や議会での意見でもあったが、文化協会との協力もお願いしたい。文化協会との連携も取り組めば複数で文化的な取り組みが増える。こういった地道な取り組みが重要である。1期目以上をお願いしたい。

(2) 精華町体育協会より

【西田事務局次長】

① 平成30年8月の実績について

○平成30年8月の実績報告と今後の予定

- ・維持管理については、毎月定例の館内巡回点検、エレベータ保守点検に加え、消防点検、自動ドア保守点検等、計6件実施した。数点の指摘事項は、早急に対応または経過観察等を行う。
- ・修繕については、教育委員会对応が2件、指定管理者対応が2件あった。
- ・スポーツ・文化振興事業については、夏休み子ども教室が終了したので別紙のとおり報告する。今年度は例年に類を見ない猛暑であったため、屋外教室については時間変更など臨機応変な対応をしながら実施した。
- ・また文化事業として新たに「ハーバリウム教室」を計画した。
(ハーバリウムとは、オイルに植物標本を浸して製作するインテリア雑貨)
- ・その他として、警報発令による避難所開設等の協力を実施した。
- ・猛暑による施設対応実績については、7/20～8/31まで実施した。取り消し件数は10件あった。

○施設利用人数について

- ・昨年同月と比較しアリーナで利用者数が1,000人強減少している。利用団体別では登録団体が1,300人程度減少しているため、これが影響していると思われる。主な原因としては、昨年バスケットボールクラブが大会を2つ開催されたが、今年は開催されず、アリーナ700名、会議室350名程度が減少している。
- ・使用料金については、8月に支払いがあったものが計上されるため、利用者数と比例するものではないと考えている。昨年マーチングでの使用に関する入金が3件で計8万円ほどありこれが影響していると思われる。
- ・屋外は大きな変化なし。

○スポーツ・文化事業の実施状況について

- ・かんたんパン教室は、夏休み子ども教室の関係で中止した。
- ・ハーバリウム教室を新規追加した。

○平成30年度利用実績表

- ・5か月分で、むくのきセンターで目標値の42.6%、打越台51.8%、池谷公園39.2%、木津川河川敷21.2%となっている。
- ・利用料収入は、5か月間で56.5%と既に目標値の過半数を超えている。今後も順調に増えていくと考えている。スポーツ文化振興事業収入は、各期や年度初めに一括で納入するケースが多く、現在、目標値の83.7%であるが同じような伸びはしないと考えている。

○維持管理・保守点検の実施状況について

- ・予定通り実施した。

QA

【河西社会教育係長】

1. ハーバリウム教室を始めたきっかけや経緯は？

【西田事務局次長】

- ・当初予定していた絵画教室を中止した関係もあり文化事業を増やしたいと模索していた。その中で職員の情報収集の中で、ハーバリウム教室をお願いできる講師が見つかったが、遠方のため来るのが難しいとのことであったので、その職員に資格をとってもらい実施することとした。今後別の事業についても考えていきたい。

【河西社会教育係長】

2. 文化的な講座を増やすためのネックは講師ということか？

【西田事務局次長】

- ・文化的な講座を開催するためには、講師の選定が課題である。また、文化事業の実施にあたっては、文化協会との連携も考えており、文化協会として、会員を増やしたいなどの各団体の要望に、併せた文化事業の開

催などに取り組んできたい。

- ・2期目が始まる前、教育委員会、文化協会、体育協会の三者で事業連携についての話をしたので、引き続き、話し合いを継続したい。

【山下事務局長】

- ・具体的な事業展開を進めるためには、両事務局で綿密な協議をすることが必要だと考えている。

文化協会事務局には、必要に応じて、文化協会所属の各団体の要望の集約などの協力をお願いしたい。体育協会事務局としては、文化協会の望まれる連携のあり方や思いをつかんだ中で、具体的な施策を進めたい。

【谷専務理事】

- ・町前任者との協議で、事務局として積極的に指定管理者との連携を進めていく意欲を持っていただいていたので、引き続きお願いしたい。

(2) その他

○管理施設修繕必要箇所等について

【西田事務局次長】

- ・修繕必要箇所の今後の方向性についておしえていただきたい。

【土井社会体育係長】

- ・限られた予算の中で優先順位を決めて対応していくこととなるが、現状ではどこまでできるかわからない。次年度においても予算要求し、引き続き対応させていただきたいと考えている。

○長寿命化計画の業者決定

【土井社会体育係長】

- ・国際航業株式会社に決定した。来週に1回目の打ち合わせを行う。現地調査やヒアリング、点検報告書の確認などで協力をお願いしたい。

3 閉会